

温 泉 分 析 書

1. 申請者

住 所 : 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5番28号
 氏 名 : 株式会社 高田屋

2. 源泉名及び湧出地

源泉名及び源泉名: 宗像王丸・天然温泉 やまつばさ
 湧 出 地 : 福岡県宗像市王丸474番

3. 湧出地における調査及び試験成績

- (1) 調査及び試験者: 一般財団法人 九州環境管理協会 藤原 浩二
- (2) 調査及び試験年月日: 平成29年10月31日
- (3) 泉 温 : 31.1℃ (気温 15.6℃)
- (4) 湧 出 量 : 602 L/min 動力揚湯
- (5) 知覚的試験: 無色透明・微弱硫化水素臭・無味
- (6) pH値(測定時水温℃): 9.9 (27.4℃)
- (7) 電気伝導率: 21.6 mS/m (25℃)
- (8) ラド ン (Rn) : 7.1 Bq/kg
 1.9×10^{-10} Ci/kg (0.52M・B)
 (液体シンチレーションカウンタによる定量)

4. 試験室における試験成績

- (1) 分析機関の名称: 一般財団法人 九州環境管理協会
 分析者氏名: 川村 秀久
- (2) 分析終了の年月日: 平成29年11月28日
- (3) 知覚的試験: 無色透明・無臭・無味(24時間後)
- (4) 密 度 : 0.9984 g/cm³ (20℃/4℃)
- (5) pH値(測定時水温℃): 9.8 (22℃)
- (6) 蒸 発 残 留 物 : 0.14 g/kg (110℃)

5. 試料1kg中の成分・分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン (Na ⁺)	49	2.13	94.67
カリウムイオン (K ⁺)	0.2	0.01	0.44
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	2.3	0.11	4.89
陽イオン計	51.5	2.26	100.00

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン (F ⁻)	1.0	0.05	2.18
塩化物イオン (Cl ⁻)	12	0.34	14.85
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	19	0.40	17.47
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	21	0.34	14.85
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	23	0.77	33.62
メタケイ酸水素イオン (HSiO ₃ ⁻)	30	0.39	17.03
メタほう酸イオン (BO ₂ ⁻)	0.2	0.00	0.00
陰イオン計	106.2	2.29	100.00

(3) 遊離成分

溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO ₂) (遊離炭酸)	0.1未満	0.01未満
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1未満	0.01未満
溶存ガス成分計	0.0	0.00

溶存物質(ガス性のものを除く): 0.16 g
 成 分 合 計 : 0.16 g

(4) その他微量成分

リチウムイオン (Li ⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	鉛イオン (Pb ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	臭化物イオン (Br ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	ヨウ化物イオン (I ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
バリウムイオン (Ba ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	● 硫化水素イオン (HS ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.05 mg/kg		チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
マンガンイオン (Mn ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	メタ亜硫酸イオン (AsO ₂ ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
鉄(II)イオン (Fe ²⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	総ヒ素	(T-As)	0.005 mg/kg	
鉄(III)イオン (Fe ³⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	カドミウム	(Cd)	検出せず	(0.005 mg/kg未満)
銅イオン (Cu ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	総水銀	(T-Hg)	検出せず	(0.0005 mg/kg未満)
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)				

6. 泉質

アルカリ性単純温泉
 (低張性アルカリ性低温泉)

7. 禁忌症、適応症等

「温泉分析書別表」に記載する。

8. 登録分析機関の名称及び登録番号登録分析機関の名称及び登録番号

一般財団法人 九州環境管理協会 福岡県知事登録第1号

平成29年11月28日

福岡市東区松香台1丁目10番1号

一般財団法人 九州環境管理協会

理事長 百島 則幸



温泉分析書別表(浴用)

1. 源泉名 宗像王丸・天然温泉 やまつばさ
2. 源泉所在地 福岡県宗像市王丸474番
3. 温泉分析申請者 株式会社 高田屋
4. 泉質 アルカリ性単純温泉
(低張性アルカリ性低温泉)
5. 分析結果による療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境省自然環境局長通知(平成26年7月1日)環自総発第1407012号によれば次のとおりである。
 5. 1 浴用の禁忌症
 5. 1. 1 一般的禁忌症
病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。
 5. 1. 2 泉質別禁忌症
該当項目なし。
 5. 2 浴用の適応症
 5. 2. 1 一般的適応症
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷感性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進。
 5. 2. 2 泉質別適応症
自律神経不安定症、不眠症、うつ状態。
 5. 3 入浴上の注意
浴用の方法及び注意
温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。
 - ア. 入浴前の注意
 - (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
 - (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
 - (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
 - (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
 - (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
 - (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
 - イ. 入浴方法
 - (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
 - (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
 - (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
 - (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。
 - ウ. 入浴中の注意
 - (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
 - (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
 - (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
 - エ. 入浴後の注意
 - (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。)
 - (イ) 脱水症状等为了避免するため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
 - オ. 湯あたり
温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
 - カ. その他
浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は、温泉法18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成29年11月28日



温 泉 分 析 書

1. 申請者

住 所 : 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5番28号
氏 名 : 株式会社 高田屋

2. 源泉名及びゆう出地

源泉名及び源泉名: 宗像王丸・天然温泉 やまつばさ 2号泉
ゆう出地: 福岡県宗像市王丸字尾中522番5

3. ゆう出地における調査及び試験成績

- 調査及び試験者: 一般財団法人 九州環境管理協会 藤原 浩二
- 調査及び試験年月日: 平成30年3月22日
- 泉 温 : 45.6 °C (気温 10.8°C)
- ゆう出量 : 280 L/min 動力揚湯
- 知覚的試験: 無色澄明・微弱硫化水素臭・無味
- pH値(測定時水温°C): 9.5 (22.4°C)
- 電気伝導率: 152 mS/m(25°C)
- ラドン (Rn) : 6.0 Bq/kg
1.6 × 10⁻¹⁰ Ci/kg (0.44M・E)
(液体シンチレーションカウンタによる定量)

4. 試験室における試験成績

- 分析機関の名称: 一般財団法人 九州環境管理協会
分析者氏名: 川村 秀久
- 分析終了の年月日: 平成30年3月30日
- 知覚的試験: 無色澄明・微弱硫化水素臭・無味(24時間後)
- 密度 : 0.9992 g/cm³(20°C/4°C)
- pH値(測定時水温°C): 9.5 (23°C)
- 蒸発残留物: 1.15 g/kg(180°C)

5. 試料1kg中の成分・分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン (Na ⁺)	240	10.44	65.25
カリウムイオン (K ⁺)	2.0	0.05	0.31
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	110	5.49	34.31
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.4	0.01	0.06
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.1	0.01	0.06
陽イオン計	352.5	16.00	99.99

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ふっ化物イオン (F ⁻)	4.0	0.21	1.42
塩化物イオン (Cl ⁻)	18	0.51	3.46
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	650	13.53	91.73
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	14	0.47	3.19
メタほう酸イオン (BO ₂ ⁻)	1.4	0.03	0.20
陰イオン計	687.4	14.75	100.00

(3) 遊離成分

非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタけい酸 (H ₂ SiO ₃)	42	0.54
非解離成分計	42.0	0.54

溶存物質(ガス性のものを除く): 1.08 g

溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.1未満	0.01未満
遊離炭酸		
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1未満	0.01未満
溶存ガス成分計	0.0	0.00

成分合計: 1.08 g

(4) その他微量成分

リチウムイオン (Li ⁺)	0.06 mg/kg		
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
バリウムイオン (Ba ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
マンガンイオン (Mn ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
鉄(II)イオン (Fe ²⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
鉄(III)イオン (Fe ³⁺)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
銅イオン (Cu ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
鉛イオン (Pb ²⁺)	検出せず	(0.05 mg/kg未満)	
臭化物イオン (Br ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
よう化物イオン (I ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
硫化水素イオン (HS ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
メタ亜ひ酸イオン (AsO ₂ ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	検出せず	(0.1 mg/kg未満)	
総ひ素 (T-As)	0.006 mg/kg		
カドミウム (Cd)	検出せず	(0.005 mg/kg未満)	
総水銀 (T-Hg)	検出せず	(0.0005 mg/kg未満)	

6. 泉質

ナトリウム・カルシウム—硫酸塩温泉
(低張性アルカリ性高温泉)

7. 禁忌症、適応症等

「温泉分析書別表」に記載する。

8. 登録分析機関の名称及び登録番号登録分析機関の名称及び登録番号

一般財団法人 九州環境管理協会 福岡県知事登録第1号

平成30年3月30日

福岡市東区松香台1丁目10番1号

一般財団法人 九州環境管理協会

理事長 百島 則幸



温泉分析書別表(浴用)

1. 源泉名 宗像王丸・天然温泉 やまつばさ 2号泉
2. 源泉所在地 福岡県宗像市王丸字尾中522番5
3. 温泉分析申請者 株式会社 高田屋
4. 泉 質 ナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉
(低張性アルカリ性高温泉)
5. 分析結果による療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境省自然環境局長通知(平成26年7月1日)環自総発第1407012号によれば次のとおりである。
 5. 1 浴用の禁忌症
 5. 1. 1 一般的禁忌症
病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。
 5. 1. 2 泉質別禁忌症
該当項目なし。
 5. 2 浴用の適応症
 5. 2. 1 一般的適応症
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定期、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進。
 5. 2. 2 泉質別適応症
きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症。
 5. 3 入浴上の注意
浴用の方法及び注意
温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。
 - ア. 入浴前の注意
 - (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
 - (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
 - (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
 - (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
 - (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
 - (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
 - イ. 入浴方法
 - (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
 - (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
 - (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよいこと。
 - (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。
 - ウ. 入浴中の注意
 - (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
 - (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
 - (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
 - エ. 入浴後の注意
 - (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。)
 - (イ) 脱水症状等为了避免するため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
 - オ. 湯あたり
温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
 - カ. その他
浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は、温泉法18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成30年3月30日

登録番号 福岡県知事登録第1号
福岡県福岡市東区松香台1丁目10番1号
一般財団法人 九州環境管理協会 理事長 百島 則幸

